

日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT)

北海道支部 会員各位

## 第 47 回 CVIT 北海道地方会開催ならびに演題募集の御案内

第 47 回日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 北海道地方会の会長を拝命し、2018 年 10 月 20 日にロイトン札幌を会場に開催させていただきます。

さて、2000 年前後にあった New Device 時代を勝ち残ったデバイスが確定し、それを用いた治療コンセプトも確立した現在は、それらを用いた治療を行なっている安定期と言えます。しかし、最近になって、次なる New Device および New Concept 時代の到来を予感させる動きが世界中で見られるようになってきました。それに伴い、世界中で次世代台頭の波が見られるようになってきました。次世代の彼らは先輩方の遺産を正しく受け継ぎ、さらに強く前に進もうとしています。

本邦においても、各地でその傾向が見られるのは周知の事実です。道内の我々は、世界において北海道から何かを発信していくだけの力は得たのでしょうか？せめて、国内においてインターベンション領域に貢献できるだけの力を得たのでしょうか？10 年後に後輩たちをリードして、道内のこの領域を引っ張っていく責任を持つ覚悟は目覚めたのでしょうか？今こそ問われるのは、それぞれの役割において、次世代への準備ができているのか？ということだと私は自覚させられています。

我々には、これまで北海道のこの領域をリードしてこられた偉大なる先輩方が多数いらっしゃいます。まずはその先輩方の教えを正しく受け止め、理解する必要があると思います。それをもとに、我々が改めて準備していくべきことを、再確認できる会にしたいと思います。道外からは、ランチョンセミナーに、豊橋ハートセンターの木下順久先生をお呼びし、さらには特別講演として道内の偉大なる 9 名の先輩方 (宮本先生(コメディカル)、藤田先生、山下先生、野崎先生、廣上先生、五十嵐先生、浦澤先生、佐藤先生、華岡先生)からお話を聞かせ頂ける貴重な会になります。特別講演のテーマは“10 年後の北海道におけるインターベンション治療領域への提言 ～偉大なる先輩から後輩へのメッセージ～”です。まさに先輩方と共に、次世代を担うための準備を始めるキックオフミーティングにできればと強く願っております。そのため、道内の先生方の積極的な演題発表と参加を希望します。また、共に戦っていく医志があるコメディカルスタッフも同様に、積極的な演題発表と参加を希望します。2018 年 10 月 20 日が、全員の共通の記憶として残るスタートの日になることを強く願っています。新しい時代に向けて、全員が第一歩を踏み出しましょう。

会場で皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

第 47 回日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 北海道地方会  
会長 鹿島 由史 (札幌心臓血管クリニック 循環器内科)



**※今回よりオンライン演題応募システムを導入させていただきます。以前と応募方法、募集期間が大幅に異なりますので、くれぐれもご注意ください。別紙募集要項をご参照ください。**



日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)北海道支部  
コメディカル会員各位

第 47 回 CVIT 北海道地方会開催ならびにコメディカル学術集会演題募集のご案内

謹啓

会員各位におきましては、時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より CVIT 北海道支部コメディカル部会の活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび CVIT 北海道地方会 第 47 回日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 北海道地方会におきまして「コメディカル学術集会」を開催致しますので、一言ご挨拶を申し上げます。

心血管領域におけるインターベンション治療は、技術の進歩に加えて、新たなデバイスの登場や、これまでカテーテル治療の対象ではなかった疾患への対応など、日々進化を続けており、近年では、末梢血管領域で使用可能な DCB や、新たな循環補助デバイスが登場しました。これらニューデバイスと既存のデバイスを有効かつ安全に使用し良質な医療を提供しなければいけません。一方で、実態を踏まえた医療技術等の評価の適正化ということで、本年 4 月より安定冠動脈疾患に対する PCI において虚血の証明が算定要件となり、進化の追求だけではなく、各種治療の適正化や標準化への取り組みも求められるようになりました。我々コメディカルスタッフにおいても、Heart Team の一員として幅広く情報を収集・共有し、up-date を行い、連携をより一層深める必要があります。

変化の激しいこの領域において、是非、この学術集会で、多くの知識の習得、また、一般演題発表を通してこれまでの業務を振り返る場として頂けると幸いです。

今回で 7 回目のコメディカル学術集会の開催となり、前回よりポスター発表形式から口述発表形式へと変更させて頂いております。是非、各ご施設より症例報告や臨床研究などの一般演題をご応募頂き、皆様と意見交換、情報共有したいと存じます。

以上、ご多忙のこととは存じますが、多くのコメディカルの皆様のご参加及び演題登録をお願い申し上げます。

謹白

日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 北海道支部コメディカル部会  
地方会コメディカル実行委員長 古谷 政人 (札幌心臓血管クリニック CE 部)  
委員長 橋本 佳苗 (札幌医科大学附属病院 臨床工学部)  
副委員長 平田 和也 (札幌心臓血管クリニック CE 部)  
副委員長 宮本 直武 (士別市立病院 診療部 診療放射線室 画像診断技術科)

## 開催概要 (コメディカル用)

- 開催名称：第47回 日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 北海道地方会
- 開催日時：2018年10月20日 (土) 10:00~16:00 (予定)
- 開催場所：ロイトン札幌  
札幌市中央区北1条西11丁目 TEL 011-271-2711 <http://www.daiwaresort.co.jp/royton/>
- 参加費：コメディカル 2,000円
- 認定単位：日本心血管インターベンション治療学会 認定資格更新単位
  - ・インターベンションエキスパートナース (INE)  
出席: 10単位
  - ・日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師  
出席: 2単位 発表 (筆頭) : 2単位 (共同) : 1単位
  - ・心血管インターベンション技師 (ITE)  
出席: 10単位 発表・座長として出席: 15単位  
参加証明書を更新時まで保管していただき資格更新時にご自身で申請してください。  
(参加証明書の再発行は致しかねますのでご注意ください)
- 演題：インターベンションに関連する自由演題  
(1 演題 10分以内/口述7分、質疑応答3分)  
応募に関する詳細は、別紙演題募集要項をご参照ください。  
[お問い合わせ先]  
〒065-0041 札幌市東区本町1条7丁目1-5-101  
日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT)  
北海道支部事務局 担当：向江 豊美  
TEL 011-788-3046 FAX 011-788-3045 (月~金 9:00~17:30)  
E-mail [toyomi@acts.cc](mailto:toyomi@acts.cc)
- 会場・時間の詳細は、開催前に送付いたします抄録集で再度ご確認くださいようお願い申し上げます。

## 第47回 日本心血管インターベンション治療学会 北海道地方会

### コメディカル 一般演題（口述）募集要項

注意事項：今回より、オンライン演題応募システムを導入いたします。

応募方法はもちろんのこと、受付期間も異なりますので、くれぐれもご注意ください。

- [募集内容] インターベンションに関連する自由演題
- [発表時間] 口述 7分、質疑応答 3分、計 10分
- [演題受付期間] **2018年8月10日(金)～8月31日(金)**
- [応募形式] CVIT 北海道支部ホームページからリンクの オンライン演題応募システムによる応募
- [必要事項]

<http://www.cvit-hokkaido.com/tihoukai.html>

上記 CVIT 北海道支部ホームページよりリンクの、オンライン演題応募システムに表示される入力必要事項の全て

- 注意事項
  - ・ 当日は、PC 本体（ノートパソコン）のお持込が条件となります。  
PC お持込時の注意事項等は、採択後に発表者へ連絡致します。
  - ・ 発表時間については、開催前に送付するプログラムでご確認下さい。
  - ・ 発表セッション開始 10 分前までに、発表者と座長はお集まりください。
  - ・ 発表者及び共著者は、日本心血管インターベンション治療学会の会員に限ります。